

職場環境改善の取り組み（介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件）

介護現場で働く人の処遇改善を行い人材確保に努め、良質なサービス提供を続けることができるようにするための取り組みです。

項目	私たちの取組
<p>入職促進に向けた取組</p>	<p>介護に関する課題は多くの方が避けて通れないものですが、“笑顔で暮らす”をコンセプトと一緒に歩む職員を、幅広い年齢層から採用しています。経験のない方でも、段階的に仕事を身に付けられるよう、キャリアパス制を導入しています。</p>
<p>他産業からの転職者や、主婦層、中高年齢等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築</p>	
<p>資質の向上や キャリアアップに向けた支援</p>	<p>働く人のキャリアアップを応援する「資格取得・研修受講支援規定」を作成し、受験料や研修費用の補助を行っています。働きながら勉強するエネルギーは大きいものですが、働く職員に向けて試験・研修日の勤務調整などを行っています。</p>
<p>働きながら介護福祉士等を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等</p>	
<p>両立支援・多様な働き方推進</p>	<p>仕事と家庭の両立に向けて、働きやすく休暇が取りやすい職場環境づくりに努めています。</p>
<p>有給休暇が取得しやすい環境の整備</p>	<p>（誕生日休暇・育孫休暇・感染症関連休暇）その他、子の養育や家族の介護等、生活スタイルの岐路でも仕事が続けられるよう、短時間正社員制度を導入しています。</p>
<p>腰痛を含む心身の健康管理</p>	<p>介護では前かがみや中腰の姿勢になることが多いため、腰痛予防対策として移乗動作ロボット</p>
<p>介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及研修等による腰痛対策の実施</p>	<p>（2台）を導入しています。また、外部講師による腰痛予防研修会や全職員対象の健康診断・ストレスチェックを実施し、心身の健康管理を支援しています。</p>
<p>生産性向上のための業務改善の取組</p>	<p>効率的な業務を目指し、タブレットを使用した記録方法の省力化を図っています。また、夜間の睡眠状態や起き上がり動作などがリアルタイムで把握できるセンサーを導入し、業務量の縮減に向けた取り組みを行っています。</p>
<p>タブレット端末やインカム等の ICT 活用や見守り機器等の介護ロボットセンサー等の導入による業務量の縮減</p>	
<p>やりがい・働きがいの醸成</p>	<p>業務改善委員会にて、職員アンケートの実施等により勤務環境の改善を行うことや、認知症ケアの心構えを介護職員で作成する等のケア改善に取り組んでいます。その他各種委員会では、職員が日々の気付きや問題点を挙げる機会を設けています。</p>
<p>ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善</p>	